

横浜市福祉サービス第三者評価結果報告書

2016年 2月29日

株式会社こどもの森 中川こども園 様

〒 131-0032

所在地 東京都墨田区東向島6-37-4-1002

評価機関名 一般社団法人アクティブ ケア アンド サポート

指定評価機関番号 第11号

電話番号 03-6657-4511

代表者氏名 代表理事 小池一步 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

事業所名	株式会社こどもの森 中川こども園	
報告書作成日	2016年 2月12日	(評価に要した期間 7か月)
評価機関	一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート	
評価調査員	(神機構-912、横浜市-71)	
評価調査員	(神機構-205、横浜市-86)	
評価調査員	(神機構-、横浜市-)	

評価方法

自己評価方法 (実施期間:2015年7月23日~2015年10月23日)	評価機関が提供した手引きを参照しながら、園長が作成し、合議の上、自己評価をまとめました。
評価調査員による評価方法 (実施期間:2016年1月26日~2016年1月27日)	事前訪問、提出書類、家族アンケート結果並びに訪問調査の結果に基づいて評価調査員が合議し評価結果をまとめ、評価委員会で決定しました。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間:2015年9月30日~2015年10月23日)	保育園から家族へアンケート調査票を配布してもらい、記入後評価機関へ直接郵送する方式により回収しました(31世帯中22世帯、回答者割合71%)。
利用者本人調査方法 (実施期間:2016年1月26日~2016年1月27日)	訪問調査において、評価調査員が分担して子どもの遊びや生活の様子を観察しました。

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書のうち、

- 横浜市は定める部分を公表することに同意します。
- 別添えの理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添えの理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

全体の評価講評

保育園の概要

中川こども園は、2012年4月に開園した横浜市認可保育所で、都筑区中川の地にあります。保育園は、横浜市営地下鉄ブルーライン・中川駅のすぐそばにあります。駅に**近く、通勤時に**子どもを預ける保護者が多いと見られます。中川駅周辺を少し離れると、閑静な住宅街が広がり、園庭も、この一角に確保しています。開設間もない園ですが、園長を始め、若い職員が、常に笑顔で子どもや保護者に接しています。賑やかで、笑顔があふれる子どもたちから、「こども園大好き」の言葉が聞こえてきました。

特に良いと思われる点

子どもに寄り添い、子どもの意見や希望を反映させ、子どもが好きなことを存分に楽しんでいます

保育園は落ち着いた茶色の木のぬくもりを感じる作りになっています。各部屋に、長方形や楕円形の大きな机や個人の小さな机を置き、絨毯やマットを敷いて、コーナー遊びができる環境を整えています。1歳児のリズム遊びでは、元気な子どもは飛んだり跳ねたり、まだ十分歩けない子どもは職員が膝上に載せ、音楽に合わせて一緒に手を挙げてリズム感を取るなど、一人一人の子どもの気持ちに寄り添い、じっくり向き合っています。0歳児は、職員と一緒に絵本を見たり、布自動車を**握ったりしながら、落ち着いて**過ごしています。4歳児の公園遊びでは、子ども自身が好きな遊びを決めて縄跳びや氷おにで遊ぶなど子どもの意見を大切に保育に反映しています。

「環境整備を徹底する」として、清掃活動から気づき力を向上させています

毎日、「早番・遅番チェックシート」に基づいて、保育室を始め、トイレや廊下などを清掃しています。本年度、重点方針・目標に「環境整備を徹底する」を掲げ、清掃に職員全員で取り組んでいます。エアコンや蛍光灯、洗濯機やシャワー、傘立てや玄関フロアなど重点箇所を細かく設定し、毎月担当を決めて清掃を行っています。リーダー及び分担を決め、清掃場所を細分化し、毎日1か所ずつ順番に清掃し、磨きこむ方法で見えない所をきれいにすることを目標としています。「清掃は気づきの基本であり、清掃することにより、見えないところまで見えてくる。子どもの観察や保護者との対応にも、きめ細かな気づきが出てくる。」と捉えています。

外部研修の成果をより効果的にして行こうと取り組んでいます

園長は、職員の力量アップに課題を設定していました。提供する保育の充実を目指し、職員の「職員研修計画」を作成し、取り組んでいます。外部研修を受講した職員が、全体ミーティングで報告しています。加えて、園長の方針から、報告を受けた職員が報告内容を如何に今後の自分に反映させるかを明確にし、その結果を「研修報告書」に付記していました。例えば、「要支援児への人権感覚を学ぶ」研修を受講した職員の報告を聞いた職員が、「(障害児や要支援児に対し)困った子として見るのではなく、困っている子として見て、原因を考えて関わって行くようにする。」と、自らの姿勢を記入していました。

さらなる改善が望まれる点

保護者懇談会を充実させるなど、保護者同士の交流を援助することが期待されます

子どもの誕生会に保護者の参加を呼びかけ、保育参観を行うとともに、給食と一緒に食べています。夕涼み会や運動会、遠足に、保護者も参加し、一緒に楽しんでいます。本年度から、保護者懇談会を年1回開催するとし、**すで**に行われていました。今回の利用者家族調査の結果には、保護者同士の交流を図れるよう懇談会を増やして欲しいという記述が複数見られました。懇談会を通して、保護者同士が知り合い、子育ての悩みや子育て方法の情報交換を行うなど保護者同士の自主的な活動を援助することが期待されます。

事故、苦情やトラブル、不適切なケースの発生や再発を防止するため、さらなる取り組みが期待されます

発生した苦情やトラブル、他の保育園における不適切なケースは、全体ミーティングで職員に周知し、年度ごとに記録をまとめ保管しています。**事故を含め、苦情やトラブル、不適切なケースのなかで、特に再発した事例**について、蓄積したデータを**活用して**原因を分析してその原因を取り除くためどのような方策が必要かを明らかにすることによって、より有効な防止策が得られるのではないか、検討が期待されます。

利用頻度が低いと見られる園庭の有効利用の検討が期待されます

マンションの2階に立地していることから、園庭(167m²)は、保育園園から歩いて10分ほどの住宅街の一角に設けています。砂場とトイレを設置し、子どもたちが自由に動き回れる空間があります。現状、園庭利用の頻度は低く、毎日、近隣の公園へ散歩に出かけ、自然に触れるとともに、自由に動き、体力を養っていると見られます。今後、園庭を、例えば、菜園として食育活動に利用する、あるいは、地域の子育て家庭へ開放するなど有効に活用する検討が期待されます。

横浜市福祉サービス第三者評価 分類別結果

評価領域 I 利用者(子ども本人)の尊重

評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成

評価項目 I-1-1(1)

保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのとなっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員が基本方針を理解している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスの実施内容は、保育の基本方針に沿っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-1-1(2)

保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の基本方針や家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程の作成にあたっては、全職員が関わっている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-1-1(3)

日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育計画に基づき、年齢ごとに指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理解できる子どもには、必要なことをきちんと説明し、納得できることを大切にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 態度・表情などから子どもの意思を汲み取り、言語化できる子どもからは意見・要望を聞いている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類 I-1 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>保育理念・方針は子どもを尊重しており、子どもは穏やかに安心した園生活を送っています</p> <p>保育方針に、「コミュニケーションを大切にし笑顔あふれる園、いろいろな経験を通して人としての基礎力を育む、一人ひとりの心に寄り添いみんなで支え合い育ち合う」など、また、保育目標に、「健やかな心身を育てる、確かな判断力ができる基礎を作る」などを掲げています。方針・目標は、玄関や各保育室に掲示し、「入園のしおり」にも掲載し、職員や保護者が確認できるようにしています。運営会社(以下、本部という。)の「子どもの方針」、「保護者の方針」他は、職員更衣室の扉に掲示し、読んでから保育に入るようにしています。日々、基本方針に沿って保育を行い、子どもたちは穏やかに生活しています。</p>	
<p>保育課程は「保護者が子育てしやすく、子どもが居心地良く過ごせる園」を基本に編成しています</p> <p>保育課程は、本部の理念「保護者が子育てしやすいようにサポートする、子ども達が居心地良く第二の家庭として安心して過ごせること」をもとに作成したものを、職員全員で見直し編成しています。本年度は、5歳児の教育面で就学に向け、小学校との交流を深めることを新しく加えています。「入園のしおり」に記載したり、玄関に掲示しているほか、入園説明会で説明しています。改定したときは、年度が変わる時点で説明することにしてしています。</p>	  
<p>子どもの意見や意思をくみ取り、興味や様子を見ながら指導計画に反映しています</p> <p>保育課程に基づき、年齢別の年間指導計画、月間指導計画、週案、日案を作成しています。計画には、子どもの意見や意思を反映するよう努めています。日々の保育では、伝わりやすい言葉を使い、子どもの興味や様子を見ながら、話をしています。0歳児がぐっすり眠れるようにと、這い這いするのを職員も一緒に追いかけ、身体を動かすよう働きかけています。2歳児の散歩では、一人の子どもが蟻を見つけたことから、皆で虫探しへと変わるのを自然に援助しています。幼児の公園遊びでは、子どもが望む縄跳びを取り入れたり、ハンカチ落としゲームなど子どものやる気を大切にしながら、計画を柔軟に変更しています。</p>	

評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

評価項目 I-2-(1)

入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に面接している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの様子をよく観察している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園までの生育歴や家庭での状況を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 面接時に把握された記録は、日々の保育に活かされている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-(2)

新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮保育(ならし保育)が必要な場合は保護者への説明を十分している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 0、1歳の新入園児に対しては個別に主担当保育者が決まっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが心理的拠り所とする物の持ち込みができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性の視点から、保護者へのていねいな連絡をノートでしている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 在園児への配慮がなされている。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-(3)

子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、複数の職員が参画して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、保護者の意向も反映している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-2 評価の理由(コメント)

評価
<p>入園前の面談で、子どもの情報や様子を把握し、入園後の保育に備えています</p> <p>入園前に、園長、リーダーが保護者と個別面談形式で入園説明を行っています。「面談チェックリスト」を使い、提出してもらった「児童票」、「緊急連絡カード」に基づいて、子どもの発育歴、予防接種状況、家庭での生活状況、食事の好みなどをたずね、細かく確認しています。面談時、基本的に子どもも一緒に、子どもの様子を観察し、必要に応じ「面談記録」に記入し、職員全員に伝えています。面談時や日々の会話から、離乳食や授乳、食物アレルギーについて確認しながら、一人一人に合った対応を行っています。</p>
<p>入園時は保護者との連絡を密にし、子どもが保育園になじむよう配慮しています</p> <p>入園説明の際には、ならし保育の大切さを説明し、保護者の就労状況など、個別の事情に応じています。期間は1週間から1か月位を目途にしています。0歳児は3人の職員が担任となり、どの子どもにも愛情深く関わり、保護者との密なコミュニケーションに努めています。子どもが心の拠り所とするタオルなどを持ち込むことを受け入れています。全クラスに連絡帳があり、0~2歳児の連絡帳は、複写式で1枚は保育園で保存します。毎日の様子を伝え、保護者の連絡事項には必ず回答するなど、家庭との生活の連続性に配慮しています。3歳児は、食事内容を記録できるよう、4歳児の連絡帳は、A6版のノートを用い、1日おきに子どもの様子を記入しています。</p>
<p>子どもの発達や状況に応じ指導計画を作成し、評価・見直しを行っています</p> <p>指導計画は、クラス担任が作成し、園長が必要に応じ修正しています。乳児には、個別指導計画を作成し、子どもの発達や状況に応じ柔軟に変更しています。全体ミーティングで、各クラスからの子どもの様子や保護者の意向、計画の反省や見直し、変更の報告があり、職員全員で検討しています。日々の送迎時の会話や個別面談で、離乳食や体調、トイレトレーニングなどについて保護者の意見や意向を聞き、計画の作成や見直しに反映しています。</p>



評価分類 I-3 快適な施設環境の確保

評価項目 I-3-(1)

子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通風・換気等が確保され、気になる臭いを取り除く工夫をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 施設内の温・湿度の管理が日々適切に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 陽光を十分取り入れるよう配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 音楽や保育者の声などが騒音にならないよう、配慮している。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-3-(2)

沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴設備がある(ただし、0歳児保育実施施設)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 温水シャワーの設備がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴・温水シャワー等の設備の管理や清掃が十分に行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-3-(3)

子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 低年齢児には、小集団保育が行われるよう、保育室の使い方を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食べる・寝るなどの機能別の空間を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 屋内に異年齢児間の交流の場がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-3 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
今年の重点目標に「環境整備を徹底する」を掲げ室内外や備品・機材の清掃を徹底しています 本年度の重点方針・目標に、「環境整備を徹底する」を掲げ、エアコンや蛍光灯、洗濯機やシャワー、玄関フロアなど重点箇所を細かく設定し、日常の清掃はもとより毎月担当を決め、清掃に取り組んでいます。各保育室に、温度計・湿度計を設置し、温度を適切に管理しています。空気清浄機は0歳児室のみですが、各保育室の換気は適宜行っています。太陽光だけで採光が不足するため、適宜照明をつけるなど十分な明るさを確保しています。保育者の声や音楽は、騒音にならないよう職員間で注意し合っています。	  
汗をかく夏の時期や下痢の時にはベビーバスや温水シャワーで体を清潔にしています 乳児は、汗をかいたり、下痢などで汚れた時、またオムツかぶれのある時など、ベビーバスや温水シャワーを使用し、清潔を保っています。使用後は必ず消毒をし、担当職員が月1回の定期清掃を行っています。沐浴設備を設けていますが、日常はあまり使用していません。衛生管理マニュアルに基づいて、レジオネラ菌などに対する消毒を行っています。	
低い家具や絨毯、マットで部屋を区切り、子どもの発達に応じた環境設定をしています 玩具や教材によって、保育室に、絨毯やマットで島を作ったり、遊びや活動のスペースを作って小集団保育を行っています。一人一人の発達状況やグループに応じ、楕円や長方形のテーブルを用意するなど環境設定を行っています。食事時と午睡時は、空間を分け、衛生面の配慮とともに、食事を落ち着いてとれる環境に配慮しています。朝の受け入れ時、2. 3. 4. 5歳児は2歳児の部屋で合同保育を行っています。散歩やイベントの折、異年齢で交流できる保育環境を設定しています。	

評価分類 I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力

評価項目 I-4-(1)





子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合った個別指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 0~1歳児については、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の目標・計画は定期的(月1回を目安)に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-4-(2)

子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや家庭の個別の状況・要望を決められた書式に記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園後の子どもの成長発達記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの記録内容は全職員が共有できるしくみになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な申し送り事項が記録され、進級時等に伝達されている。	
B	保育所児童保育要録を小学校に送付している。その上で、Aの中で2つ以上に該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する。または、該当しない。	

評価分類 I-4 評価の理由(コメント)		評価
子どもの様子や保護者の意向を踏まえて個別指導計画を作成しています		  
乳児は、前月の子どもの姿を踏まえて当月の保育上の配慮を記入した個別指導計画を作成し、目標を定めた形ではなく子どもの成長を援助していく書き方を取り入れています。幼児は、気になるケースなど必要に応じ、月間指導計画の備考欄に記入し、前月の子どもの養育や教育の反省・評価を行い、次月の目標を定めた計画を作成し、必要に応じ柔軟に見直しています。個別指導計画では 昼寝時間の短縮やトイレトレーニングの時期については 、保護者との面談や送迎時の会話から 共通理解を求め、計画 しています。		
子どもに関する記録は個別にファイルし、保育に生かしています		
子どもの基本情報や発育歴、既往症、予防接種、家庭での生活、食事の好みなどを記入してもらった児童票や緊急連絡カード、入園面談表、発達記録、個人面談表、健診状況、身長・体重、歯科健診表など子どもに関する記録を個人ファイルに綴じ、管理しています。個人ファイルは、職員室の鍵付の書棚に保管し、職員はいつでも閲覧できます。進級時、発達記録を参照しながら引継ぎを行っています。小学校へ入学する際は、保育所児童保育要録を作成し、小学校に郵送しています。		

評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

評価項目 I-5-(1)

特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別のケースについて会議で話し合わせ、記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 最新の情報を職員間で学習し、保育に活かしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされている。	
B	特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がある。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-5-(2)

障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> バリアフリーなど、障害児保育のための環境整備に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の同意を得て、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児保育について全職員で学習し、話し合える体制ができている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児と障害のない子どもとの関わりに配慮をしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-(3) ※旧 II-3-(4)から移動

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待の定義が全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 疑わしい場合や見守りが必要な場合は関係機関との連携をとっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-(4)




アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものかかりつけ医の指示を受け、適切な対応を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギーにおいては、保護者との連携を密にし、 除去食 を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 除去食 を提供する場合は、誤食事故を防止するため専用トレイや専用食器、名札等を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-(5)

外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化(言語・表現・食事)や生活習慣、考え方の違いを認め尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化や生活習慣の違いを他の子どもたちが理解できるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-5 評価の理由(コメント)	評価
<p>要支援児に関わる内外の研修に参加し職員間で共有し、受け入れ体制を整えています</p> <p>特に配慮を要する子どもについて、全体ミーティングにおいて、クラスから報告があり、情報交換や留意事項を伝えるなど課題を共有しています。横浜市の「要支援児への人権感覚を学ぶ」研修や本部の研修で学んだことを全体ミーティングで他の職員に伝達研修を行っています。伝達研修後、職員は学んだ研修内容を今後どのように活用するかを研修報告書に追記しています。研修報告書は、回覧しています。障害児、気になる子、虐待児、アレルギー疾患児などをいつでも受け入れられるよう外部研修を活用した勉強会を行い、受け入れ態勢を整えています。</p>	
<p>職員が作成した虐待ハンドブックを職員全員で読み合わせ、意識を高めています</p> <p>園内はバリアフリーとし、車いす対応トイレを設置するなど障害児の受け入れ態勢を整えています。園内はバリアフリーとし、車いす対応トイレを設置するなど障害児の受け入れ態勢を整えています。が、障害児の受け入れは、過去3年間、ありません。職員が編集した「虐待について」と題した冊子を読み合わせ、虐待の定義や事例などを学ぶ勉強会を行っています。視診チェック表を使い、登園時を始め、昼食時、散歩時、午睡時、降園前の1日5回、視診を行い、傷やあざなどを確認しています。保護者への声かけなど個別に話す機会を多く取るよう努めています。</p>	  
<p>食物アレルギーを持つ子どもや文化・習慣の異なる子どもに、適切に配慮しています</p> <p>2013年度から3年間、食物アレルギーをもつ子どもが在籍しています。保護者から、医師の診断書及び除去食指示書を提出してもらっています。毎月のメニューから除去する食材を保護者に確認してもらい、除去しています。独自に「食物アレルギーとは」と題した冊子を作成し、職員が勉強会を行いました。食事やおやつは、専用のトレイを使用し、茶碗や皿にラップをかけるなど、誤食が起こらないよう工夫しています。外国籍の子どもには、言葉や習慣に配慮し、職員は挨拶の言葉は交わせるよう習得し、実行しています。保護者へ、ジェスチャーを交えながら保育園で必要なものの現物を見せるなどしながら、連絡や説明、コミュニケーションに努めています。</p>	

評価分類 I-6 苦情解決体制

評価項目 I-6-(1)



保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員に、直接苦情を申し立てることができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、意見箱・懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対して具体的な配慮がなされている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 権利擁護機関など他機関の苦情解決窓口を紹介している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望・苦情を受け付ける担当者が決まっており、事前に保護者に説明されている。	
C	要望・苦情の受付窓口が明確にされていないなど、取り組みが不十分である。	

評価項目 I-6-(2)

要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員を交えて対応する仕組みができています。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がとられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情の解決策が会議等を通じて職員に理解・周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し、解決に活かしている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情を受け付け対応するためのマニュアル等文書化されたものが整備されている。	
C	マニュアル等文書化されたものが整備されておらず取り組みが不十分である。	

評価分類 I-6 評価の理由(コメント)		評価
保護者が要望、相談や苦情を訴えやすい仕組みを整えています		
<p>苦情解決のフローチャート(対応マニュアル)を作成し、掲示しています。保護者などの苦情や要望は、園長が時間を設け直接聞くこととし、話しやすい環境づくりを心がけています。個人面談や行事後のアンケートによって、保護者の意見や要望を聞くよう努めています。アンケートの集計・分析の結果を掲示し、フィードバックしています。意見箱を設置し、本部宛のはがきを備え、保護者は自由に記入し、投函できます。苦情・要望があった際は、迅速に対応しています。フローチャートには、かながわ福祉サービス運営適正化委員会事務局やかながわ権利擁護相談センターなどの苦情解決窓口を明記するとともに、苦情対応手順を明確にしています。</p>		
苦情、要望や相談などに迅速に対応する仕組みを整えています		
<p>苦情解決のフローチャートによって、保育園単独で解決が難しい場合は、本部の担当者へ連絡・相談したり、専門機関などに相談することを確認しています。利用者などからの苦情の申し出があった場合、対応策を全体ミーティングにおいて職員全員で話し合っています。申し出た保護者などに改善策を説明し、理解や納得を得るとともに、掲示などにより、改善策を周知しています。また、「苦情簿」に、対応状況を記録し、職員全員に周知しています。再発防止を目指し取り組んでいるなかで、再発している事例も見られることから、過去の事例も含め、確実な対応策の検討が期待されます。</p>		

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類Ⅱ-1 保育内容〔遊び〕

評価項目Ⅱ-1-1(1)

子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いた遊べるスペースなど)ができているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年齢や発達にふさわしい環境構成に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分の好きなことをして遊び込める時間が十分に確保されている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(2)

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとともに、友だち関係やルールを守る等の社会性を重視して、年齢に応じて取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由遊びの中で一人ひとりが興味・関心を持って遊べるよう、保育士が援助している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(3)

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培や飼育を通して得られる体験を、保育活動にフィードバックしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが散歩等で、日常的に地域の大人や子どもたちと挨拶・会話を交わしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自発的に表現するよう様々な素材を用意するなど、自由に使えるよう配慮されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に歌ったり、絵を描いたりしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(5)




遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士のけんか等については、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異年齢の子ども同士が関わりを持てるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを積極的に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを行う際には、紫外線対策やアレルギーへの対処を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 発達段階に応じて、運動能力を高められるような遊びの環境を意識してつくっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの既往歴や健康状態に合わせた遊びを工夫している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-1 [遊び] 評価の理由(コメント)	評価
評価項目Ⅱ-1-1(1) [遊び]	
低い棚に、発達に応じた玩具を用意し、マットや机で落ち着いて遊べる環境を作っています	
低い棚に玩具を収納し、子どもが自由に取り出して遊んでいます。遊びの種類によって、絨毯やマット、机を置き、落ち着いて遊べる環境を作っています。乳児は、布おもちゃや穴通し、ボタンはめ、プラスチックの型はめ、絵本など、幼児はおはじきやチューリング、パズルやカルタなど年齢に応じ手先を使う遊びや運動遊び、表現や構成遊び、知育玩具などを用意しています。登園後や降園前の合同保育は、自由遊びの時間です。日中活動の中にも、自分の好きなことをして遊び込める時間を設けています。	
評価項目Ⅱ-1-1(2) [遊び]	
興味や関心に従って一人で遊んだり、皆で遊んだり、職員と遊んだり、楽しんでいきます	
朝夕の合同保育の時間、子どもは棚から自由に玩具を取り出し、子どもに人気のキャラクターを描いた職員手作りの厚紙絵、布おもちゃを使ったボタンはめ、ブロックで電車や飛行機を作ったりと、好きなことを楽しんでいます。散歩の時、皆で虫探しをしたり、公園では縄跳びや夏祭りで踊った盆踊りを再び楽しんでいます。また、氷おにや椅子取りゲームなどの集団遊びではルールを守る大切さを学んでいます。職員は、一人一人に目を配り、遊びを見つけれない子どもと一緒に遊んだり、子ども同士でトラブルが発生した時は、見守りながら解決できるよう援助しています。	
評価項目Ⅱ-1-1(3) [遊び]	
日々の散歩で街の様子や自然の移り変わりを体感し、社会や自然に触れています	
「お散歩マップ」や「お散歩チェック表」を作り、天気の良い日は散歩に出かけています。様々な植物や昆虫を観察し、蟻、ダンゴ虫、カナブンなどを図鑑で調べ、関心を深めています。秋は、持ち帰ったドングリ、木の葉、木の枝を使って制作に取り組んでいます。カブトムシを飼育し、成長を観察しました。この観察を通して、体が弱る姿や死ということを考えました。街の花植え事業に参加し、花壇の落ち葉や雑草取りをしています。今後、野菜の栽培を通して、生長を観察し、収穫する、さらに調理して食べる喜びを感じるという体験を加えることが期待されます。	  
評価項目Ⅱ-1-1(4) [遊び]	
玩具や教材、音楽に合わせて自分の気持ちを自由に表現できるよう環境を整えています	
季節の歌を歌ったり、マット遊びやリズム体操を取り入れ、音楽に合わせて体を動かして楽しんでいます。1歳児は、職員に抱っこしてもらったり、そばに寄り添い、リズムに合わせて遊ぶ子どももいます。柔らかい素材のボールや手作りの玩具を備え、振ったり、ころがしたりして楽しんでいます。幼児は、廃材、毛糸、広告用紙、自由画帳、のりやハサミ、クレヨン、色鉛筆などを使い、自由な表現活動に取り組んでいます。夏は、プールや泥んこ遊び、色水遊びを楽しんでいます。玩具は、子どもの手の届く場所に収納し、自由に取り出して遊べるよう配慮しています。	
評価項目Ⅱ-1-1(5) [遊び]	
子ども同士のけんかは見守り、状況に応じて中に入り、気持ちを互いに見えるようにしています	
子ども同士のいさかいは、すぐには間に入らず、子ども同士で解決するよう意識的に見守っています。危険があるときは、中に入り話し合うよう促しています。乳児同士の間で、手が出たり、噛みつきが起こったときは、職員が間に入り言葉を代弁し、解決するよう働きかけています。4歳児と2歳児と一緒に散歩に出かけたり、朝夕の合同保育時間は、異年齢の子どもが遊びながら過ごしています。年長の子どもが年少の子どもをいたわったり、年少の子どもは年長の子どもの真似をしたり、憧れを持って見守っています。職員は、言葉かけの勉強会を行い、肯定的な言葉かけや子どもの目線で話すことを学び、子どもとの信頼関係を築くよう努めています。	
評価項目Ⅱ-1-1(6) [遊び]	
「体操遊び研修」を日々の保育に生かし、散歩や屋外活動で体を十分動かしています	
保育課程に、「戸外で体を動かして遊ぶ」ことを記載し、それに基づく指導計画に、散歩や屋外活動を多く取り入れています。天気の良い日は、散歩や公園、園庭で活動し、基礎体力を養っています。たれ付き帽子をかぶり、子どもによって長袖を着用させるなど紫外線予防に気を配っています。職員は、「体操遊び研修」を受講し、「 <u> </u> 」日々の保育に活用しています。その日の健康状態のすぐれない子どもは、室内で本を読んだり、パズルで遊ぶなどに切り替え、落ち着いて過ごしています。	

評価分類Ⅱ－1 保育内容【生活】

評価項目Ⅱ－1－(7)

食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士が、子どもの負担になるほどに残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳児の授乳にあたっては、ほしがる時に、抱っこして声をかけながら与えるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 授乳する時や離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、適切な言葉かけや援助をしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。対象乳児がいない場合は2つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。対象乳児がいない場合は、全くおこなっていない。	

評価項目Ⅱ－1－(8)

食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食事の場としての雰囲気づくりに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食材や食器の安全性に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの成長・発達や用途に即した食器を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－1－(9)

子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士や調理担当者が、子どもたちの食事の様子を見る機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 残食を調査記録し、献立・調理の工夫に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－1－(10)

子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立表を作成し、事前に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立作成のポイントを明記した情報提供を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的にレシピを提示し、保護者に園で提供する食事に対する関心を促している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・食べ方(噛み方)等、園で配慮していることを知らせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－1－(11)




午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 安心して心地よい眠りにつけるよう、午睡・休息の場を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児突然死症候群に対する対策を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年長児には適当な時期から午睡を一斉活動としていない。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－1－(12)

排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> トイレトレーニングは一人ひとりの発達状況に応じて個別に対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園での排泄状況を保護者に伝え連携を密にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> おもらしをした子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、全職員が認識している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-1 [生活] 評価の理由(コメント)	評価
評価項目Ⅱ-1-(7) [生活]	
<p>子どもの食べる意欲や行動を援助し、食事を楽しめるよう取り組んでいます</p> <p>給食の歌を歌い、「いただきます」と挨拶をしてから食べ始めます。盛り付けは、子どもが食べたいと思える量と彩りに配慮しています。おかずが少し残っているときには、「おかずを寄せて、きれいに食べようね」と声かけをしています。2歳児は、全員が無理なく完食していました。乳児期は、楽しんで食事をとれるよう無理強いせず、食べられた時は褒めています。授乳は、膝上に抱っこし、「おいしいね、ゴックンゴックン」と目を合わせ、言葉かけをしながら子どものペースに合わせ、飲ませています。5歳児は、配膳の手伝いをしています。片付けは、年齢に応じ子どもたちが行っています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(8) [生活]	
<p>季節感、安全性に配慮し、食事を落ち着いて楽しめるよう工夫しています</p> <p>季節にあった旬の食材を使い、本部や都筑区子ども家庭支援課から送られてくるデータを参考にし、食材の産地にこだわり、安全性に配慮しています。本部のメニューを基本に、保育園の行事や活動に合わせ、変化させています。クリスマスや月見には、ツリーのケーキや月見汁など季節に因んだ行事食を作っています。クラスごとに寝食を別にした空間を作り、落ち着いて食事ができるよう配慮しています。食器は、陶器製を使い、4種類の皿や茶碗、7種類の食具を使い分けています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(9) [生活]	
<p>子どもの喫食状況や反応を把握し、献立作成や調理に生かしています</p> <p>毎日、残飯状況を把握し、「給食日誌」に記録しています。残食の多かったメニューについて、給食会議で話し合い、改善を図っています。栄養士と保育担当職員が連絡を取りながら、大きさや調理方法を変えるなど、食事作りに反映しています。栄養士は、月に1~2回、一緒に食事を取るなど、子どもたちと顔を合わせながら食事の様子を観察しています。給食日誌に、メニューや残食状況、子どもの反応、清掃状況、中心温度など食事に関わるデータを記録しています。</p>	 
評価項目Ⅱ-1-(10) [生活]	
<p>毎月、献立表と給食だより、レシピで食に関する情報を保護者に提供しています</p> <p>毎月、献立表・離乳食献立表と給食だよりを園だよりに添えて、保護者へ配付しています。給食だよりに、朝食を取るコツ、食欲がないときの食事など、食に関わる情報を掲載しています。廊下に、当日の給食を展示し、人気メニューのレシピをサンプルケースの側に置き、保護者が自由に持ち帰ることができます。保護者は、誕生会で給食を試食し、子どもの食事を知ることができます。今回の利用者家族調査の結果には、美味しい食事が提供されていることへの感謝の言葉が多数見られました。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(11) [生活]	
<p>午睡時は落ち着いた環境を作り、ゆっくり休めると共に安全性に配慮しています</p> <p>午睡時、カーテンを閉じ、照明を落とし、静かなBGMを流すなど落ち着いた雰囲気での眠りにつけるよう環境を整えています。寝つけない子どもは、無理に寝かせず、コットで静かに体を休めるよう話したり、職員がやさしくトントンしています。0歳児と1歳児は、5分おきに呼吸を確認し、SIDS(乳幼児突然死症候群)チェック表に記入しています。2歳児以上も、午睡中の様子を見守っています。5歳児は、運動会後から午睡をなくし、就学へ向けて準備を始めています。午睡時には他クラスの子どもの寝かしつけをしたり、玩具や絵本の整理など静かにお手伝いをしています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(12) [生活]	
<p>トイレトレーニングは保護者と話し合いながら、子どもの発達に合わせ無理なく進めています</p> <p>トイレトレーニングは、連絡帳や送迎時の会話、個人面談によって保護者と連絡を取りながら、子どもの状態を把握し、無理なく進めています。子どもの発達状況を全体ミーティングで伝え、担任以外の職員も把握し、対応できるよう工夫しています。2歳児のトイレに、一人一人の子どものパンツ、オムツ状況を掲示し、職員が把握しています。もらした時は周りに気づかれないよう素早く対処し、子どもの心を傷つけず安心させる言葉かけに努めています。子どもの気持ちを尊重した対応方法を、職員で話し合い、実践しています。</p>	

評価分類Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理

[健康管理]

評価項目Ⅱ-2-(1)

子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

判断基準		評価
次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態を把握している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	既往症について常に保護者から情報を得られるように努め、対応を関係する職員に周知している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて園での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	食後の歯磨き指導を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(2)

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。




判断基準		評価
次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録がある。	
<input checked="" type="checkbox"/>	健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	健診結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医との連携を図っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(3)

感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

判断基準		評価
Bに該当したうえで、次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応がマニュアルに明記され、保護者に周知している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	感染症が発生した時は、速やかに保護者に情報提供している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	感染症に関する最新情報を職員が共有している。	
B	感染症等への対応に関するマニュアルがある。	
C	感染症等への対応に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [健康管理] 評価の理由(コメント)




評価の理由(コメント)	評価
<p>健康管理マニュアルを備え、子ども一人一人の健康管理に取り組んでいます</p> <p>健康管理マニュアルを使い、年間の保健行事を始め、日々の健康に関わる業務、健康観察、職員間の連携などを職員全員で確認し、子ども一人一人の健康管理に取り組んでいます。児童票に、発育歴、既往症を記入してもらったほか、予防接種の実施年度、毎月の嘱託の小児科医及び歯科医による健診状況・歯科健診表があり、毎月記録しています。発熱、下痢や嘔吐など体調が良くないときは、保護者に状態を伝えるとともに、迎えに来てもらうよう連絡しています。症状によって医療機関の受診を勧め、感染症の場合は連絡してもらうよう依頼しています。食後の歯磨きは、3歳児から始めています。歯科健診の際、歯科医や歯科衛生士から虫歯予防や歯磨きのブラッシングの指導を受けています。</p>	
<p>健康診断、歯科健診を実施し、保護者に結果を知らせるなど子どもの健康維持に取り組んでいます</p> <p>毎年2回健康診断を、年1回歯科健診をそれぞれ実施し、毎月の身体測定の結果とともに、児童票に記録しています。子ども一人一人に児童票ファイルを作り、鍵付きの書庫に保管し、保育担当職員は見る事ができます。保護者には、「健康診断の結果」、「歯科健康診断結果のお知らせ」で、健診の結果を知らせています。当日欠席した子どもの保護者に、嘱託医を紹介し、後日健康診断を受けられるようにしています。健診の結果から保育園で対応できることであれば、協力しています。</p>	 
<p>感染症に対応するマニュアルを職員に周知し、また、保護者に注意を促しています</p> <p>登園停止となる疾患名を、「入園のしおり」に記載しています。罹患したときは、医師の治癒証明書を提出してもらったうえで、登園を受け入れています。感染症の発症が認められたときは、速やかに保護者へ連絡し、他の子どもと接触しないよう事務室で休ませ、迎えを待ちます。また、感染症が発生した場合、玄関に病名、症状、潜伏期間などを掲示するほか、口頭でも伝え、注意を促しています。感染症対応マニュアルを職員に周知し、都筑区からの通知を全体ミーティングなどで共有しています。</p>	

[衛生管理]

評価項目Ⅱ-2-(4)

衛生管理が適切に行われているか。

判断基準		評価
	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、職員参加により定期的(内容により異なるが、最低年1回を目安)に見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルの内容を全職員が共有するため、定期的(採用時に1回、採用後は最低年1回)に研修を実施するなど、具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 衛生管理に関するマニュアルがある。	
C	衛生管理に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [衛生管理] 評価の理由(コメント)		評価
<p>マニュアルは年1回見直し、全職員で統一した対応がとれるよう勉強会を行っています</p> <p>衛生管理マニュアルに、感染症の基礎知識、感染症の予防と対策を記載しています。見直しは、年度初に必ず1回行い、最新情報を取り入れています。本年度は、これまで手洗い用と清掃用の消毒液を分けていましたが、同じ消毒液を使用することに見直しました。区の感染症研修に参加し、全体ミーティングで伝達研修を行い、職員全員が統一的な対応ができるよう学びを共有しています。</p>		
<p>衛生管理が行き届き、園内外は清潔に保たれています</p> <p>「衛生管理マニュアル」や「早番・遅番チェックシート」に基づいて、清掃を行っています。毎日、すべての部屋やトイレ、廊下などを掃除し、エアコンや換気扇、シャワー、園庭も毎月1回清掃しています。職員全員の分担を決め、場所を細かく区切り、毎日少しずつ行う、見えない所をきれいにすることを目標に掲げています。感染症の蔓延を防ぐため、汚物を処理する際は手袋を着用し、手洗後はペーパータオルを用いています。園内に弱酸性消毒液を配置し、手指の消毒を徹底しています。全体ミーティングで、マニュアルの内容を確認し、また、いつでも閲覧できるよう事務室に備えています。</p>		 

[安全管理]

評価項目Ⅱ-2-(5)

安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 地震等を想定し、備品等の転倒防止など安全対策を講じている。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所等への誘導などの訓練を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が救急救命法を身につけている。	
B	安全管理に関するマニュアルがあり、Aの中で3つ以上該当する。	
C	安全管理に関するマニュアルがない。または、Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(6)

事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者や救急機関、地域への連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員会議などで事故の報告、再発防止策の検討が行われ改善策が実行されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(7)

外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等の侵入防止策(出入り口の施錠等)が講じられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等に対する緊急通報体制が確立されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-2 [安全管理] 評価の理由(コメント)

評価
<p>事故、火災や災害に備え、安全対策を検討し、実施しています</p> <p>「安全管理マニュアル」を整備しています。電化製品の下には、耐震ジェルを貼ったり、家具に滑り止めマットを敷いて転倒を防止する、事務室の棚には固定ロックを用いるなど地震対策を講じています。毎月、地震・火災の避難訓練を行い、一時避難場所や広域避難場所まで歩く訓練を取り入れています。通報・連絡体制を確立し、職員室に掲示しています。保護者への連絡は、メール連絡網と災害用ブログを利用し、迅速に連絡できる体制を整えています。職員全員が、救急救命講習を受講し、救急法を身につけています。</p>
<p>事故や怪我の発生時及び以後の対応策を講じ、再発防止に取り組んでいます</p> <p>近隣の医療機関の連絡先一覧を作成し、事務室に掲示しています。事故や怪我で治療が必要と判断した場合、保護者に連絡するとともに、状況によって診察・治療を受けます。受診後、保護者へ報告し、状況を説明しています。小さな怪我でも、「事故記録簿」に怪我の部位や発生場所などを記録し、保護者に報告しています。翌日、子どもの様子を確認し、朝礼とミーティングで職員に知らせています。事故記録簿には、改善策をクラス担任が記載し、翌朝の朝礼と回覧で周知し、再発防止に努めています。</p>
<p>不審者の侵入に備え、情報を入手し、配信や必要な訓練を実施しています</p> <p>玄関扉は、暗証番号で開錠して開閉する電子錠を取り付けるとともに、監視カメラを設置し、訪問者を確認しています。暗証番号は、定期的に変更しています。不審者に対する緊急通報体制を確立し、事務室に掲示しています。子どもと一緒に不審者対応訓練を毎年1回行っています。不審者侵入時の職員間での合言葉を決め、訓練時に使っています。不審者情報は、都筑区こども家庭支援課や本部から伝えられます。近隣で発生した場合、保護者へメール連絡網で配信するとともに、園内に掲示します。</p>



評価分類Ⅱ-3 人権の尊重

評価項目Ⅱ-3-(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間で相互に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> せかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉で話している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの人格を辱めるような罰を与えたり、自尊心を傷つけるような保育を行ってはならないことを、全職員が認識している。		
B	Aの中でいずれか2つ該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、プライバシーを守れる場所を用意することができる。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-3-(3)


個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 守秘義務の意義や目的を全職員(ボランティア・実習生含む)に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについてガイドラインをつくり、全職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについて、保護者に説明し了解を得ている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報に関する記録は施錠できる場所に保管、管理している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(4)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 順番、グループ分け、整列など性別にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をしないようにしている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で反省する仕組みをつくっている。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-3 評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもの人格を尊重し、互いに学び合い、人権研修を受講し、保育に生かしています</p> <p>子ども一人一人を尊重し、呼び捨てはしないよう心がけています。威圧的な言葉や態度を取らないよう言葉かけや注意の仕方について、“言葉かけNG4パターン”(マニュアル)を使って勉強会を開いています。子どもの目線に合わせ、言いたいことを受け止めるよう心がけ、その子どもの気持ちに沿った援助を行うことを学んでいます。また、横浜市の人権研修を受講し、人権を尊重することの大切さを勉強しています。</p>	
<p>プライバシーの保護及び個人情報の取り扱いや守秘義務を職員などに徹底しています</p> <p>一対一で話すときは、他の子どもがいない事務室で、子どもの話をじっくり聞くよう配慮しています。また、他の子どもに見られたくない場合などは柵やつい立を利用するなどして、プライバシーを守っています。個人情報保護について、個人情報保護方針を掲示しています。職員を始め、ボランティアや実習生は、誓約書を提出しています。保護者に、入園説明会などにおいて、個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ています。個人情報に関わる記録は、施錠できる引き出しに保管し、事務室からの持ち出しを禁止しています。</p>	
<p>性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう注意を払っています</p> <p>男女を差別することなく、保育を行っています。整列は学年別、月齢別、背の高さ順にし、グループ分けなども性別で行っていません。名簿は月齢・年齢順に作成しています。子どもの家庭状況を踏まえ、固定的な観念による接し方をしないよう心がけています。性差による言葉かけではなく、子ども一人一人を尊重した言葉かけを行っています。</p>	

評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携

評価項目Ⅱ－４－(1)

保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対しては、全体会または懇談会などで説明する機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、園独自のアンケートなどで保育方針が理解されているかどうか把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常保育の中で、園だよりや連絡帳などで保育方針が理解されるよう努力している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園時に配布する園のしおりやパンフレットなどに保育方針を明記している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(2)

個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡帳やメールなどできめ細かに情報交換を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の意向を踏まえて個別面談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラス全体の様子を伝える保護者懇談会等を実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(3)

保護者の相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談内容などを人に聞かれないで相談できるよう、配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制になっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談は記録し、継続的なフォローができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－４－(4)

保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 「園だより」など定期的に発行している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ビデオや写真などを撮って、日常の保育の様子を伝える努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(5)




保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観または保育参加を積極的に受け入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観、懇談会等に出席できなかった保護者へのフォローを行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(6)

保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が自主的な活動をできるように場所等の提供をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の活動に要請があれば職員も参加をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者組織とは常にコミュニケーションをとっている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-4 評価の理由(コメント)	評価
<p>保育の理念・方針について、保護者に理解してもらえるさらなる取り組みが期待されます</p> <p>保育の基本方針・目標を、入園時の説明会で保護者に説明しています。「入園のしおり」に記載するとともに、玄関や保育室に掲示し、保護者に保育園の方針が理解されるよう努めています。園だよりで、園長は方針の一つ「みんなで支え合い育ち合う」を実践していることを伝えるなど保護者に方針が理解されるよう努めています。今回の利用者家族調査の結果には、保育園の保育目標・保育方針についての質問(問1)に対し、「よく知っている」が0人、「まあ知っている」が30人(65%)でした。今後、保護者に理解してもらえるようさらなる取り組みが期待されます。</p>	
<p>子どもの様子を、日々登・降園時の会話や連絡帳で伝え合い、個人面談や相談に応じています</p> <p>日々、登・降園時に、保護者と連絡帳の受け渡しをするとともに、その日にあった子どもの様子を伝えています。玄関に、クラスの活動内容を書いたスケッチブックを掲示し、一日の様子が分かるよう工夫しています。連絡帳は、0～3歳児まで毎日記入し、保育園と家庭での子どもの様子やエピソードを情報交換しています。4歳児からは、A6判ノートを使い、保護者に自由に書いてもらい、保育園は2日に1度記入しています。保護者との個人面談は、年1回行い、希望に応じていつでも受け入れ、相談に応じています。</p>	  
<p>園だよりで、各クラス目標や活動内容、歌など保育園での生活を分かりやすく伝えています</p> <p>園だよりを毎月発行し、各クラスの月の目標や活動予定、前月の活動報告、子どもの様子などを掲載しています。年間行事予定表は、年度初に配付し、保護者が予定を立てやすいようにしています。誕生会に、保護者を招待し、保育の参観とともに、給食を一緒に食べてもらいます。懇談会は、本年度から年1回行っています。今回の利用者家族調査の結果、保護者同士の交流を図れるよう懇談会を増やして欲しいという記述が複数見られました。保護者同士の自主的な活動を図れるよう援助することが期待されます。</p>	

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価項目Ⅲ－1－(1)




地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するための具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を通じて把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて関係機関や他施設との検討会・研究会を行っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ－1－(2)

地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援ニーズについて、定期的(年に1回程度)に職員間で話し合われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域での子育てを支援するためのサービス(一時保育、交流保育、園庭開放等)を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に向けて子育てや保育に関する講習・研修会を開催している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ－1 評価の理由(コメント)		評価
<p>地域の子育て家庭の育児相談を通して、支援ニーズを把握しています</p> <p>子育て支援ニーズについては、見学者の相談内容から把握に努めています。相談内容は、「見学・一時保育登録」表に月ごとに残しています。地域の人々が参加できる運動会などの行事は、保育園の玄関や園庭に掲示しています。一時保育や交流保育の機会に、利用者の育児相談に応じています。地域の幼保小連携活動に参加し、近隣の小学校や保育園との連携を深めています。</p>		  
<p>地域の子育て支援ニーズに応じ、専門性を生かした支援活動に取り組んでいます</p> <p>地域の子育て中の保護者から見学時に意見を聞き、関連する支援ニーズを職員間で話し合っています。子育て支援活動の年間計画を作成し、都筑区こども家庭支援課へ提出しています。現在、一時保育、交流保育、施設開放などを実施しています。園庭の有効活用を含め施設開放の機会を利用し、子育てにかかわる講習会などの開催を当面の課題としています。</p>		

評価分類Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能

評価項目Ⅲ－２－(1)




地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供や育児相談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児相談については、定期的(最低週に1回)に相談日を設けて対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園からのお知らせを地域に回覧するなどして、情報提供に努めている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ－２－(2)

相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な関係機関・地域の団体等をリスト化する等により情報を職員が共有している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関との連携の担当者が決められている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関・団体等との日常的な連携ができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ－２ 評価の理由(コメント)		評価
<p>地域の子育て家庭への情報提供や育児相談を行っています</p> <p>保育園の見学者を中心に、必要な情報を提供し、育児相談に応えています。施設開放時にも気軽に対応できるよう月3～4回育児相談日を設けています。育児相談の案内は、保育園のイベントの際に、地域の人々に案内を配布しています。今後、地域に対しさらに働きかける工夫が必要ではないか、検討が期待されます。</p>		  
<p>相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっています</p> <p>相談内容により、横浜市北部児童相談所を始め、よこはま子ども虐待ホットライン、都筑区福祉保健センター、市北部地域療育センターなどの専門機関と連絡が取れるよう事務室に連絡先を掲示しています。関係機関との連携は、主に園長とリーダーが担当し、内容によって、本部と連絡・相談の上で対応しています。必要に応じ、小学校、医療機関、消防署、警察署などと連携を取ることにしています。</p>		

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価項目Ⅳ－1－(1)




保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
<input checked="" type="checkbox"/>	園の行事に地域住民を招待している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	自治会・町内会、ボランティアグループ等と協力して行事を行うなど、地域の団体、機関と定期的(年1回以上)、計画的に交流を図っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	地域への施設開放や備品等の貸し出しを行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	近隣との友好的な関係を築くための取り組みを行っている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅳ－1－(2)

子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の文化・レクリエーション施設等を利用している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	日常的に地域の人達と接する機会(散歩・買い物等)に積極的に交流を図っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	日常的に他の園・学校・福祉施設等との交流を図っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の行事や活動に参加できるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅳ－1 評価の理由(コメント)		評価
保育園に対する理解を深めてもらえる取り組みを行っています		  
夏祭りや運動会などに、一時保育の利用者を中心に招待しています。中川駅周辺のまちづくりに取り組む団体に協力し、遊歩道の花植え事業に参加しています。子どもが花の世話に加わり、地域の人々と交流しています。年長児は、 近隣 の小学校を年に数回訪問し、 交流 をしています。園長は、地域の幼保小連絡会の会議や講演会に参加し、関係を築いています。園庭開放、備品やかさの貸し出しも行っていきます。		
地域との交流を積み重ね、子どもの生活に変化を与え、地域の理解を深めています		
遠足などで岸根公園、こども宇宙科学館など地域のレクリエーション施設を利用 しています 。また、行事の際、地区センターや歴史博物館などの施設を活用しています。運動会 では 、近隣の小学校の体育館を 借り受けています 。晴れた日は、近くの公園で戸外遊びを行っています。その際、地域の人々に挨拶をしてふれあうなどの 機会を持っています 。地域の「中川ふれあいフェスタ」に出かけ、 イベントを見て楽しんで います。		

評価分類Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供

評価項目Ⅳ－２－(1)

将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。




判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	園のパンフレット・広報誌・ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	外部の情報提供媒体に対して園の情報を提供している。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	園として、すすんでサービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を提供している。
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅳ－２－(2)

利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	園の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	利用希望者に見学ができることを案内している。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応している。
B	園の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や文書に基づいて説明している	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅳ－２ 評価の理由(コメント)

評価の理由(コメント)		評価
利用希望者などが関心を持っている事項について、わかりやすい情報を提供しています		  
市や区のホームページ、保育園のパンフレットに保育園の情報を記載し、提供しています。区のホームページは、毎月、新入園児の募集人数を更新しています。見学希望者には、速やかに対応し、保育園の概要と延長保育料金などを記載したパンフレットを配付し、説明しています。一時保育利用者用パンフレットも作成し、料金や持参する物について、わかりやすく紹介しています。また、1日の流れや年間行事についても説明しています。		
利用希望者などの問い合わせや見学に、希望日時を聞き、対応しています		
利用希望者や見学者に、園のしおりやパンフレットを用いて、保育方針・保育目標を始め、提供している保育内容を説明しています。また、問い合わせには、主に園長が対応し、園長が不在の場合、職員が対応しています。見学希望者には希望する日時を聞いています。保育園の都合上、希望の日時に対応できない場合、理由を伝え、別の希望日時を聞いて対応します。		

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ

評価項目Ⅳ－3－(1)




ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的考え方・方針が理解されるよう説明している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	ボランティアの感想や意見を園運営に反映させている。
	<input type="checkbox"/>	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。
C		受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。

評価項目Ⅳ－3－(2)

実習生の受け入れを適切に行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的な考え方・方針が理解されるよう説明している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れのための担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫している。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	実習生と職員との意見交換の機会を設けている。
	<input type="checkbox"/>	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づき実習生に対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。
C		受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。

評価分類Ⅳ－3 評価の理由(コメント)		評価
<p>ボランティアを受け入れ、子どもが職員以外の人に触れています</p> <p>受け入れに当たり、ボランティアに対し、受け入れマニュアルに従って、保育園の方針、利用者への配慮事項などを説明しています。また、事前に、ボランティアの来園、活動内容を職員や利用者にも周知しています。受け入れは、園長またはリーダーが担当し、「ボランティア活動日誌」に活動内容や感想を記録しています。ボランティアの感想や意見は、以後の運営に役立っています。</p>		
<p>実習生を受け入れ、育成に寄与しています</p> <p>実習生の受け入れに当たって、ボランティアに準じた対応を行っています。実習生に、入ってもらうクラスの担当職員が指導します。依頼先の学校の要望に従って、実習が効果的に進むよう配慮しています。本年度は、本部から依頼されてインターンを受け入れ、実習を指導しました。毎日、反省会を持ち、意見交換を行っています。実習の最終日に、園長が面談し、良かった点や改善点を「実習・職場体験を終わって」に残しています。受け入れマニュアルに従って、「実習生」という名札を付け、職員と識別しています。今後、保育士養成専門学校などへ働きかけることが期待されます。</p>		 

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類 V-1 職員の人材育成

評価項目 V-1-1(1)

保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園運営に十分な人材構成であるかをチェックし、必要な人材の補充を逐次行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の理念・方針をふまえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個々の職員の資質向上に向けた目標を毎年定め、達成度の評価が行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 V-1-1(2)

職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部研修が定期的の実施され、職員・非常勤職員とも必要な職員が必ず受講できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外の研修会、大会等への参加、他の福祉施設での実地研修等が積極的に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を職場で活かすための工夫がされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を評価して、研修内容を常に見直している。	
B	職員の研修ニーズにも配慮し、研修担当者が研修計画を作成している。	
C	園としての研修計画を作成しておらず、取り組みが不十分である。	

評価項目 V-1-1(3)

非常勤職員等にも日常の指導を行っているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務にあたっては職員と非常勤職員の組み合わせなどの配慮をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員に対し、職員と同様に資質向上への取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員の指導担当者が定められ職員間のコミュニケーションが図られている。	
B	非常勤職員にも業務マニュアルが配布されている。	
C	業務マニュアルもなく、取り組みが不十分である。	

評価分類 V-1 評価の理由(コメント)

評価
<p>保育園の理念や方針に沿って、人材の育成に取り組んでいます</p> <p>必要な人材の確保は、本部が傘下の保育園の配置状況を踏まえ、一括して行っています。欠員が出た場合、本部は、保育園の希望を考慮し、適切な人材を補充しています。保育園の理念、方針は、全体ミーティングや個人面談において、理解を深めています。一人一人の職員の資質向上を目指す活動について、年2回、「スタッフシート」を用いた自己評価と園長の評価をもとに、達成度を評価しています。</p>
<p>本部の研修に加え、園内研修を充実させるなど、研修体制を整えています</p> <p>毎月1回以上、全体ミーティングにおいて、内部研修を行い、例えば、連絡帳の書き方、虐待防止などテーマを決めて学んでいます。保育園の事業計画書に、研修計画を織り込み、市の本部主催の研修を受講しています。園外研修に参加した場合、研修報告を全体に伝達した後、受講者が「研修報告書」を作成し、有効に活用する独自の取り組みがあります。</p>
<p>常勤・非常勤職員を問わず、研修機会を設け、育成しています</p> <p>2人の調理職員が非常勤で勤務しています。非常勤職員が保育に入る場合、「子どもの森のお約束」(業務マニュアル)に従って、適切な指導体制を整えます。研修には、調理員も参加し、常勤職員と同様に本部の研修に参加しています。また、給食会議などを通して、栄養士が必要な指導を行っています。栄養士は、調理員に声をかけ、皆とコミュニケーションを取りやすい環境作りに努めています。園長が、職員に必要と思われる研修計画を作成します。</p>

評価分類V-2 職員の技術の向上

評価項目V-2-(1)

職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の振り返りや、保育所の自己評価を計画的に行う仕組みを持っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫・改善した良いサービス事例をもとに、一層のサービス向上を目指した会議・勉強会が開かれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-(2) ※新規項目

保育士等が保育や業務の計画および記録を通してみずいからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。


判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が、自己の実践の振り返りをし、文章化できるように計画や記録の書式が定型化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、計画で意図した保育のねらいと関連づけて行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを重視して行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が振り返りを通して自己の実践を評価し、改善やその後の計画作成に反映させている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-(3) ※新規項目

保育士等の自己評価を踏まえ、保育園としての自己評価を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果を互いに報告し合い、話し合っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果から、園としての課題を明らかにし、改善に取り組んでいる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価は、園の理念や保育の方針、保育課程に沿って行われている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価を公表している。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類V-2 評価の理由(コメント)




評価理由(コメント)	評価
<p>職員のスキルの段階に合わせ、計画的に保育技術の向上に取り組んでいます</p> <p>本部が、職員に期待する項目は、「スタッフシート」に細く定めています。これを指標として、計画的に技術の向上に取り組んでいます。職員の保育技術の向上と保育水準の向上を目指し、園内で勉強会を開いています。本部の園回り研修など、外部の専門機関、傘下の他の保育園長や職員の見学、意見交換を通して、指導・助言・示唆を受けています。</p>	
<p>自らの実践を振り返り、自己評価を行い、専門性の向上、保育の改善に努めています</p> <p>職員は、年間指導計画・月案・週案について、目標やねらいを明確にし、子どもの姿・取り組み方などを振り返り、自己評価しています。計画のねらいの実現を目指し、こうした反省と自己評価を、次の保育に生かしています。保育の自己評価に当たっては、子どもができた、できないなどの結果だけを求めるのではなく、子どもの姿を一人一人見守りながら課題に取り組めるような過程を重視しています。日々の保育で困ったことや悩んでいることを一人で抱え込まず、他の職員に助言を求めたり、解決策を一緒に考えて行くことを勧めています。経験が浅い職員が中心と見られるなかで、様々な経験を積み重ね、専門性の向上や保育の改善に努めています。</p>	
<p>職員の自己評価を踏まえ、保育園としての自己評価を行っています</p> <p>職員の自己評価は、全体ミーティングで報告し、話し合う時間を設けています。職員間には、クラスを越えて相談し合える関係ができています。保護者アンケートの結果などを踏まえ、職員全体で新たな課題を見つけ、取り組んでいます。園長は、全体ミーティングでの報告などをもとに、自己評価を総括し、保育園としての自己評価につなげています。</p>	

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持

評価項目V-3-(1)

本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の状況に応じ自主的に判断できるように、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、責任を明確化している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員から業務改善の提案を募ったり、意見を聴取するためのアンケートなどを実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類V-3 評価の理由(コメント)		評価
職員の経験、能力などに応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めています		
<p>本部の「教育経営計画書」に、期待する職員像を明記しています。経験や役割に沿った研修に参加し、モチベーションを高める仕組みを整えています。経験の浅い職員は、保育技術を学ぶ研修を受講し、力量の向上に努めています。職員に対し、クラス担任や行事対応などそれぞれ権限を委譲しています。子どもや保護者の状況を職員間で共有しつつ、職員一人一人が自主的に判断できるよう指導しています。本部は、職員満足度調査を行い、改善点・意見などを聞いています。園長は、必要に応じ、職員と個人ミーティングを行い、職員の理解を深めています。日ごろより話しやすい雰囲気作りに気を配るなど、園長が目指す「楽しい園づくり」が進んでいます。</p>		  

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価項目VI-1-(1)




事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 組織及び職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化され職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 経営、運営状況等の情報が積極的に公開されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他施設での不正、不適切な事案を題材とした研修を行い、それらの行為を行わないよう啓発している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-1-(2)

サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境への考え方、取り組みが明文化され、運営に活かされている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類VI-1 評価の理由(コメント)		評価
事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し、順守しています		  
<p>職員が守るべき規範や倫理は、本部の「教育経営計画書」に明記し、職員全員に周知しています。本部は、他の保育園における不適切な事例について情報を提供するとともに、その有効活用を指導しています。園長は、運営に関する情報を、朝礼や全体ミーティングで職員に知らせています。また、毎月の園長会で得た情報を伝えています。他の保育園の事故・苦情事例や保護者アンケートから得られた情報をもとに、保育園における問題の未然防止や改善に取り組んでいます。現状は、職員への周知に留まっていると見られ、未然防止の観点から具体的な対策の検討が期待されます。</p>		
<p>ゴミの減量化を始め、リサイクル・省エネルギーの意識を高めるなど、環境問題に取り組んでいます</p> <p>ゴミの分別に取り組んでいます。園内で再利用できる牛乳パックや廃材などは、再利用を工夫し、保育で活用しています。残食が出ないように、子どもの喫食状況を確認し、改善に取り組んでいます。エアコンの温度設定や消灯に努め、子どもの節電・節水意識が高まるよう職員自らが手本となって教えています。一人一人がハンカチーフを持ち、ペーパータオルの使用を控えるとともに、トイレトペーパーや水道水の無駄のない使い方を指導しています。トイレや手洗い場に、環境に配慮した使い方を写真で示していました。</p>		

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

評価項目VI-2-1)

保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を明文化したものを掲示または職員に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員に朝礼・会議等で周知し、理解を促すための説明をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を職員が理解できているか、園長・主任が定期的(採用時1回、採用後は最低年1回)に確認している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-2)

重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定にあたり、園長は保護者と継続的に意見交換をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定(変更)について、職員及び保護者に目的・決定(変更)理由・経過等を十分に説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異なる部門の職員による検討チームを編成し組織をあげて取り組むしくみがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-3)

主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任が個々の職員の業務状況を把握できるしくみがあり、有効に機能している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員の能力や経験にあわせた確かな助言や指導を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-2 評価の理由(コメント)

評価
<p>保育園の理念や基本方針を職員及び保護者へ周知しています</p> <p>職員全員が本部の理念・基本方針を明記した「教育経営計画書」を所持しています。職員は、研修において本部の基本方針などを学習し、また、半期ごとの「スタッフシート」による評価で確認しています。保育園の方針・目標を、玄関を始め、各保育室、事務室に掲示しているほか、方針・目標を園のしおりに記載し、保護者へ周知しています。今回の利用者家族調査の結果には、保育園の保育目標・保育方針について(問1)に対し、回答者の回答は、「まあ知っている」が30人(65%)、「どちらともいえない」が7人(15%)、「あまり知らない」が9人(20%)でした。「よく知っている」、「まったく知らない」はともにありませんでした。今後、保護者に理解を深めてもらう取り組みが期待されます。</p>
<p>重要な意思決定にあたり、職員・保護者から意見・要望を集め、結果を説明しています</p> <p>年1回、園長は、保護者と個人面談を行っています。年2回、運営委員会を開き、保護者代表が参加し、意見や要望を聞き、運営に反映しています。登・降園時、保護者と会話をし、意見交換を行っています。重要な変更について、全体ミーティングで話し合っています。保育担当職員だけでなく、栄養士や調理員の意見を取り入れるなど、全体で話し合っています。保護者には、園だよりや掲示板で伝えたり、懇談会などで説明しています。</p>
<p>主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしています</p> <p>リーダーが園長を補佐しつつ、個々の状況に合わせて担当を決めるほか、月々のシフト表の作成から、日々の業務設定まで、業務をスムーズに遂行できるよう重要な責務を果たしています。職員の個性を尊重し、得意分野を把握したうえで、指導・助言を行っています。職員が良好な状態で仕事に取り組めるよう常に言葉かけに気を配るとともに、プライベートなことも話せるような雰囲気作りを心がけています。職員は、シフト表や行事計画表を確認し、無理なく業務に取り組んでいます。本部は、主任研修・リーダー研修を実施し、これらの役割を担う職員への期待、職務や責任について理解や自覚を深めています。本部で主任、リーダー会議が開かれ、共通の悩みや意見を出し合い、モチベーションアップにつなげています。</p>



評価分類VI-3 効率的な運営

評価項目VI-3-(1)

外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。






判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業運営に影響のある情報を収集・分析している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するため会議等で議論し、重点改善課題として設定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営面での重要な改善課題について、職員に周知し、園全体の取り組みとしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-3-(2)

保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の施設運営に備え、幹部職員は計画的に後継者を育成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営に関し、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-3 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>環境の変化に対応しつつ、理念や基本方針の実現を目指し、運営に取り組んでいます</p> <p>園長は、区内の園長会、本部の園長会、セミナーや研修への参加、地域との交流を通して、様々な情報を入手しています。手本となる保育園を見学したり、地域の幼保小研修で他の保育園を見学しています。これらの情報をもと、園長は、保育園の目標を達成するための重要な課題について、リーダーと話合っています。また、より良い保育園にするために、どうしたらよいかを、職員一人一人に意見を聞いています。</p>	  
<p>保育園の運営に関して、中長期的な見通しを立てています</p> <p>保育園は、本部の「教育経営計画書」に従って、中長期的な見通しを持って運営しています。そうした見通しを、保育園の「中長期計画」として明らかにしています。その内容は、「地域とのつながりを密にし、誰からも愛される園にする。」とし、現状の「保育・職員・保護者」に対する改善を主としています。地域に根差した保育園の充実と発展の観点から、例えば、3か年を計画期間として、3年後の目標を設定し、達成のための課題と実現のための具体的施策を明らかにする必要がないか、検討が期待されます。年2回の運営委員会を通して、保護者代表を含む外部の意見を取り入れ、指摘された部分の改善に努めています。</p>	 

利用者家族調査の結果

調査の概況

調査対象:2015年10月現在、在園の子どもの保護者60世帯を対象としました。
 調査方法:アンケート方式で調査を実施しました。保育園から保護者に対し予め第三者評価の目的について説明し、利用者調査票(保護者用)と評価機関作成の説明書を配付してもらいました。保護者から、記入後評価機関が用意した封筒にいれ、直接郵送してもらい回収しました。利用者(保護者)総数60人(世帯)、有効回答数47人(世帯)、利用者総数に対する回答者割合78%でした。

結果の特徴

回答者の総合的満足度は、「満足」が29人(63%)、「どちらかといえば満足」が18人(38%)で、「どちらかといえば不満」、「不満」はありませんでした。
 個別の質問に、給食に対する評価は高く、子どもたちが食事を楽しんでいる様子がうかがえます。日常の保育内容は、「満足」、「どちらかといえば満足」との回答が多く見られました。一方、懸念される内容としては、保護者との話し合いの機会や感染症の情報提供があげられます。また、保育目標・保育方針について、「よく知っている」との回答がなかったこともあげられます。今回の利用者家族調査の結果を踏まえ、改善に取り組むことが期待されています。

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

よく知っている	まあ知っている	どちらかともいえない	あまり知らない	まったく知らない
0	30	8	9	0
0%	64%	17%	19%	0%

「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」と答えた人のうち

1-2その保育目標や保育方針は賛同できるか

賛同できる	まあ賛同できる	どちらかともいえない	あまり賛同できない	賛同できない
20	10	0	0	0
67%	33%	0%	0%	0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
2-1 見学の受け入れについては		30	13	1	0	3
		64%	28%	2%	0%	6%
	その他	・見学していません。新規オープンだったため見学できなかった。				
2-2 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については		26	18	2	0	1
		55%	38%	4%	0%	2%
	その他	・新規オープンだったためデータ不足。				
2-3 園の目標や方針についての説明には		18	25	3	0	1
		38%	53%	6%	0%	2%
	その他	・覚えていない(説明されたのか)。				
2-4 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については		26	16	2	0	3
		55%	34%	4%	0%	6%
	その他	・あまり覚えていない。				
		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他

2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には	22	22	3	0	0
	47%	47%	6%	0%	0%
その他					
2-6 費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	30	16	1	0	0
	64%	34%	2%	0%	0%
その他					

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
3-1 年間の保育や行事のについての説明には	21	22	4	0	0
	45%	47%	9%	0%	0%
その他					
3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	20	20	4	0	3
	43%	43%	9%	0%	6%
その他	・分からない。要望はどのタイミングで伝えるのか。				

問4 日常の保育内容について

【遊び】について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
4-1 クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	28	16	0	2	1	
	60%	34%	0%	4%	2%	
その他						
4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかについては	29	15	2	0	1	
	62%	32%	4%	0%	2%	
その他						
4-3 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、 年齢にふさわしいかなど)	27	19	1	0	0	
	57%	40%	2%	0%	0%	
その他						
4-4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	25	19	2	0	1	
	53%	40%	4%	0%	2%	
その他						
4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	28	17	2	0	0	
	60%	36%	4%	0%	0%	
その他						
4-6 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	27	16	2	0	2	
	57%	34%	4%	0%	4%	
その他						

【生活】について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
4-7 給食の献立内容については		40	6	0	0	1
		85%	13%	0%	0%	2%
	その他					
4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては		37	9	0	0	1
		79%	19%	0%	0%	2%
	その他					
4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては		32	10	3	1	1
		68%	21%	6%	2%	2%
	その他	・どのような取り組みをしているか情報が無い。				
4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては		28	12	3	2	2
		60%	26%	6%	4%	4%
	その他	・聞いたことがないので。				
4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては		23	10	4	2	8
		49%	21%	9%	4%	17%
	その他	・まだ1歳2カ月のため。該当せず。まだ、オムツはずしに取りかかっていません。オムツはずしの時期がまだのため。				
4-12 お子さんの体調への気配りについては		32	12	1	1	1
		68%	26%	2%	2%	2%
	その他					
4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には		24	17	0	0	6
		51%	36%	0%	0%	13%
	その他	・まだそのような経験はない。まだ怪我したことがない。				

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
5-1 施設設備については		21	21	3	2	0
		45%	45%	6%	4%	0%
	その他					
5-2 お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては		26	19	2	0	0
		55%	40%	4%	0%	0%
	その他					
5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については		29	13	3	2	0
		62%	28%	6%	4%	0%
	その他					
5-4 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については		24	17	5	1	0
		51%	36%	11%	2%	0%
	その他					

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
6-1 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については		24	12	6	0	5
		51%	26%	13%	0%	11%
	その他	・入ったばかりでまだ不明。まだそういった機会がない。				
6-2 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については		34	11	1	0	1
		72%	23%	2%	0%	2%
	その他					
6-3 園の行事の開催日や時間帯への配慮については		32	13	1	1	0
		68%	28%	2%	2%	0%
	その他					
6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については		29	16	2	0	0
		62%	34%	4%	0%	0%
	その他					
6-5 お子さんに関する重要な情報の連絡体制については		27	18	1	0	1
		57%	38%	2%	0%	2%
	その他					
6-6 保護者からの相談事への対応には		23	22	1	0	1
		49%	47%	2%	0%	2%
	その他					
6-7 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については		29	14	0	0	4
		62%	30%	0%	0%	9%
	その他	・遅れたことはありません。まだ、お願いしたことがないので分かりません。				

問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては		33	10	1	0	3
		70%	21%	2%	0%	6%
	その他					
7-2 あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては		34	13	0	0	0
		72%	28%	0%	0%	0%
	その他					
7-3 アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については		26	11	0	1	9
		55%	23%	0%	2%	19%
	その他	・どちらもないので知りません。該当しない。子どもがアレルギーや障害の対象ではない。				
7-4 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては		30	13	2	0	2
		64%	28%	4%	0%	4%
	その他					
7-5 意見や要望への対応については		27	16	0	1	3
		57%	34%	0%	2%	6%
	その他	・要望は特にはないです。				

問8 保育園の総合的評価

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満
総合満足度		29	18	0	0
		62%	38%	0%	0%

問9 保育園への意見・要望など

問1 保育園の保育目標・保育方針について

・「園の玄関に貼られており、いつも見ることができます。説明されたのか覚えていない。そんな詳しい説明はなかった。」という記述がありました。

問2 入園する時の状況について

・「他の園も含め初めての見学だったが、とても話しやすく説明も分かり易かった。」というご意見のほか、「見学の際、昼寝中ではなく子どもたちが活動している時間を見学したかった。大分大雑把だったのでもう少し細かく知りたかったです。」という記述もありました。

問3 保育や行事の年間計画について

・「日曜日に行事が行われることが多く、たすかっています。」という意見のほか、「行事の日程についてもっと早くから知らせて貰えると仕事の休みが取り易い。よくアンケート等で要望は書くが、それがあまり活かされているとは思えない。もう少し早めに知らせて欲しい。」という記述がありました。

問4. 1 日常の保育内容について【遊び】

・「いつも楽しそうです。雨の日以外はほとんど毎日戸外遊びがあり、メニューも豊富。夏は蝉取り、お泊まり保育や子どもの国の遠足など盛りだくさん。」という意見のほか、「午後も外で活動して欲しい。外遊びが不十分なため、基礎体力がつかない。」という記述もありました。

問4. 2 日常の保育内容について【生活】

・「給食・おやつ共に手作りで、四季折々の行事にちなんだ献立もあり、とても満足です。栄養バランスなど考えられていてとてもよい。箸を使うように指導して頂いて助かってます。」という意見のほか、「1歳児クラスもお代わりできるようにして欲しい。」という記述がありました。

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

・「木の質感が安心するようです。園庭が(同じ)敷地内だったら完璧。ケガをしにくくてよい。」という意見のほか、「近くの園で感染症が出た時は、注意喚起があっても良いと思う。風のせいかわからないがオートロックがたまに開いている。」という記述がありました。

問6 園と保護者との連携・交流について

・「その日のクラスの様子が、(掲示されていて)よく分かる。(職員に)いつでも相談できると思う。」という意見のほか、「保護者懇談会はもっとやっていいと思う。年に1度のみなので。」という記述がありました。

問7 職員の対応について

・「子どものありのままの行動や感情を受け入れて貰っています。新しい先生方も自分の子どもの名前をすぐに覚えてくれた。うちに限らず全員大切にされています。」という意見のほか、「先生によって対応が違う気がする。」という記述がありました。

保育園への意見や要望

・「先生もやさしく大変満足しています。安心して預けることができます。」という意見のほか、「行事や準備品についてのお知らせが遅い時があるため早めにして欲しい。保護者参加の機会を増やしていただけると、他の保護者、園児、先生方との交流も深められるのでは」という記述がありました。

■保育園に通っている子どもについて(保育園に2人以上通っている場合は、下の子ども)

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
7	11	10	7	6	6
15%	23%	21%	15%	13%	13%

利用者本人調査の結果

調査の概況
<p>調査対象: 2016年1月26、27日、登園した子どもを対象としました。</p> <p>調査方法: 聞き取り及び観察方式で実施しました。聞き取りは、3～5歳児のうちそれぞれ1人の子どもと面談して行いました。評価調査者2人が、それぞれクラスを訪問し、保育状況を観察しました。また、評価調査者1人が、山崎公園への外出に同行し、行き帰りや行く先での子どもの動きや表情を観察しました。</p>
保育の様子・子どもの様子等結果の特徴
0歳児組
<p>朝の受け入れの0歳児は保護者との別れがつらく泣きだし、なかなか離れられない子どもや、「また来てね」と手を振る子どももいます。保護者が、子どもの状況を伝えています。職員が引き取り、優しくゆっくり、「お鼻出ちゃったね」と話しながら、ふき取っていました。子どもは、布おもちゃのクマさんや電車、プラスチックの玩具で職員と一緒に遊んでいます。子どもの好きなキャラクターをまねる格好したり、頭に手を載せてポーズを取ったりしています。その様子に「かっこいい～」と職員が応じています。プラスチックの型はめ玩具では数人が集まり、一つ一つ型にはめると、職員が「すご～い」と一人一人を褒めています。模造紙に描いたキャラクターや犬、線画を壁に貼っています。絵の所へよちよちと歩きながら近づき、指をさしてキャラクターの名前や、ワンワンと言っては職員の所に戻り、嬉しそうに握手やタッチをしています。</p>
1歳児組
<p>朝の登園時、母親と別れるのがつらく泣いていた子どもも職員に引き取られ、抱かれていましたが、暫くするとみんなが遊ぶ中に入って元気に遊び出します。シートを敷いたコーナーでは、数人の子どもが職員に絵本を読んでもらっています。「パオパオ、モーモ、おーしまい」、皆、興味深々です。手作りの穴のあいたタッパーから布玩具を出したり入れたり、布玩具のボタンかけで遊んだりしています。急に子どもが泣き出しました。「どうしたの」と職員、玩具を持っている子どもに手を合わせ、「かーして」というのよと教えています。「投げないで渡してあげて」とやさしくて手渡しの仕方を伝えています。オムツの取り換えでは、「ズボンの前をつまんで少し下ろしてみよう」と、職員は子どもができるところは自分でやるよう援助しています。ゆっくりじっくり職員は子どもの行動を見ながら、自分でする力を出すよう導いていました。</p>
2歳児組
<p>2歳児の昼食です。3つのテーブルに分かれ、2テーブルで職員がそれぞれ一緒に食事をしています。今日のメニューは、シャケ、キノコのソテー、ひじきの煮もの、みそ汁です。箸を使う子どもは一人で、他の子どもは全員スプーンを使っています。子どもたちには、スプーンの正しい持ち方が身につくよう教えています。スプーンの持ち方が違っているときは手を添えたりしています。子どもはご飯が残り少なくなると一生懸命寄せ集め、すくって食べ、「食べた」と職員に伝えています。「きれいに食べたね」、「お口や手を拭いてね。出来たら、先生の所に来てね」と話し、職員の所に来た子どもを見て、きちんと拭かれているか、顔や手、洋服にご飯粒や汚れがないかを再確認しています。チェックが終わると、絵本コーナーに行き静かに絵本を読んでいます。全員がきれいに残さず完食できました。</p>
3歳児組
<p>話を聞いた子どもは、男の子です。保育園の生活は楽しく、先生方はみんな優しく、大好きと言っていました。遊び道具は沢山あるが、ゲームが欲しいと言っていたことは、他の子どもも同じような雰囲気、子どもたちの自然な姿のように見えました。好きな遊びは、ブロック遊び、ままごと、折り紙などをあげていました。食事はおいしいが、嫌いなものもあり、嫌いなものは早く食べてしまうと話してくれました。</p> <p>3～5歳児の散歩時、にぎやかな行進でしたが、引率する職員の話すことを聞き、嬉しそうにペアを組んだ上級生の手を握っていました。山崎公園では、緑色の帽子をかぶり、仲間同士で鬼ごっこをして楽しんでいました。帰園時、担任の指示に従って、行儀よく整列していた様子が印象に残っています。</p>
4歳児組
<p>元気な男の子から話を聞きました。保護者の車で通園していました。遊びでは、制作活動に興味を持ち、節分用に鬼の面の製作中でした。食事は、おいしいけれど、嫌いなものは先に食べるようにしている、昼寝はするときもあるけれど、寝られないときは横になって体を休めている、天気の良い日の散歩は、毎日出かけていますが、怖い思いをしたことはない、話してくれました。(注記)車による登・降園について、駐車スペースの関係から、保育園は、他の車に迷惑を掛けないような配慮を求めています。また、他のクラスで散歩中の犬とのトラブルがあったことから、その対応に注意していました。</p> <p>公園への散歩は、間もなく最年長となる意識もあり、3歳児を上手にフォローしながら手をつないでいました。公園では、職員を中心として遊戯を楽しんでいる様子を観察しました。</p>

5歳児組

小学校へ進学する雰囲気を感じられる女の子から話を聞きました。勉強は好きではないけど、頑張っ
てやって行きたい、また、11月から昼寝はなく、小さなクラスの子どもたちを寝かせる手伝いをしていると話
してくれました。

午睡の時間、年少の子どもの昼寝を手伝った後、静かに読書するなど、思い思いに過ごしている様子
に、最年長としての姿を見ることができました。インフルエンザへの対応も、職員や家族から言われたとお
り、うがいと手洗いを確実に行っていました。散歩時、最年長の意識は強く、3、4歳児の手を引き、職員
の話すことを聞いて、上手に誘導していました。公園では、二組に分かれ、ドッチボールで楽しんでいま
した。審判を務める職員の指示やルールに従って、ゲームを楽しんでいる様子を観察することができまし
た。